

夏休み市民連句会

二十韻「金木犀」巻

土屋日菜 捌

- 1 金木犀一里四方に香を放つ 土屋 日菜
- 2 遠くに電車薄月の夜 佐野 仙由
- 3 鶺鴒にスマホ片手に近づきて 桃井 伴子
- 4 朝の散歩で交わす挨拶 水野 森雄
- 1 スーツケース部屋の隅にてスタンバイ 仙由
- 2 秘めて激しき白蓮の恋 日菜
- 3 待ち合わせ心弾んで銀の鈴 森雄
- 4 ペールギェントをカフェテラスにて 伴子
- 5 舌自慢闇汁会で發揮する 日菜
- 6 枯野の向こう富士の幻影 仙由
- 1 納税の返礼品は曲げわっぱ 伴子
- 2 早く治まれ気候変動 森雄
- 3 君の手をそっと握って傘の中 仙由
- 4 湯舟に足らす秘蔵の香水 日菜
- 5 花火の音微かに聞こゆ月淡く 森雄
- 6 柏手二つ犬はおまわり 伴子
- 1 伊豆展望寄せる白波時刻み 井上輝夫
- 2 春待つ茶店暖簾新調 仙由
- 3 花明かりウエディングドレス映える路 伴子
- 4 港栈橋乱舞する蝶 森雄

首尾 令和五年八月十一日

裾野市桃園集会所